

札幌市の活動報告 —東京 2020 オリンピック競技大会札幌開催について

奥木貴史 札幌市スポーツ局国際大会担当部東京オリンピック・パラリンピック担当課

1. 東京 2020 大会概要

「東京 2020 オリンピック」は、7月23日～8月8日の17日間で33競技339種目が、42の競技会場にて行われ、「東京 2020 パラリンピック」は8月25日～9月5日の12日間で22競技540種目が、21の競技会場にて行われました。

札幌市内では、7月21日～28日の間でサッカー10試合（男子6試合、女子4試合）が、8月5日～8日の間で男女20km競歩、男子50km競歩、男女マラソンの5競技が実施されました。

2. マラソンコース紹介

マラソンコースは長年の開催実績を持つ北海道マラソンをベースとして、さっぽろテレビ塔をバックに大通公園をスタート後、すすきの～中島公園～豊平川～創成川通～北海道大学～北海道庁旧本庁舎（赤レンガ庁舎）と北海道・札幌の発展の歴史を巡り、その魅力を感じることができるコースになっています。世界陸連からも「特に北大を走り抜けるコースは美しく、木陰が暑さ対策として有効」との高い評価を受けました。

コース沿道のスタート、フィニッシュ、中間点、5kmポイントごとには距離表示銘板を設置しており、大会後もマラソンツーリズムや記念大会の実施など、オリンピックレガシーとしてこのコースを継続的に活用することにより、街の活性化につながるものと期待しています。



3. 札幌市の取組

開催都市として機運醸成やボランティア事業、海外メディアへの情報発信などに取り組みました。

・**機運醸成の取組** 大会期間中の7月19日～9月5日に市内中心部に都市装飾を実施し、特に大通公園西10丁目に設置したオリンピックシンボルは多くの市民が記念撮影するなど好評を得ました。



・**シティキャストの活動** 大会ボランティアであるシティキャストは255名が活動。主にマラソン・競歩競技開催日に市内中心部のインフォメーションブースなどで通行人に対し、交通規制や迂回路案内等の業務を実施しました。

・**海外メディア向け情報発信** 新型コロナウイルス対策で自由な取材や行動に制限のあった海外メディアをサポートするため、英語版特設サイトを開設し、札幌の情報・写真・動画素材等の提供を行いました。

4. 2030 冬季オリンピック・パラリンピック競技大会招致に向けて

札幌市はこれまで、1972年の冬季オリンピックをはじめ、2002年FIFAワールドカップ、2007年ノルディックスキー世界選手権、2017年冬季アジア競技大会、2019年ラグビーワールドカップ、今回の東京2020オリンピック競技大会と数々の大規模スポーツイベントを開催し、スポーツを通じたまちづくりを進めてきました。

現在、2030年の冬季大会の招致を目指し、大会計画の見直しを行っており、今後市民対話を経ながら、計画を更新していく予定です。